

日本一のしばふ校てい

なんつるの校ていは、みどりいろのしばふです。でも、どの学校の校ていもしばふなのかというと、そうではありません。しばふの校ていの学校は、めずらしいのです。とくに、なんつるのようにひろいしばふの校ていをもっている学校は、とうきょうとの中でも、とてもめずらしいのです。日本一のしばふ校ていなのです。

なんつるのしばふの校ていのいいところをいくつかしょうかいしましょう。

やわらかいしばふ

なんつるのしばふは、きょうぎじょうようのやわらかいしばふです。つるまきひがしこうえんのつるまき山（ガリバー山）や、つるまきにしこうえんのひろばのしばふのように、かたくありません。だから、ころんだり、手やひぎをついたり、ねころがったりして、しばふとからだがかすれてもいたくありません。

けががすくない

なんつるが、しばふの校ていになってから、ほけんしつに行く人がすくなくなりました。土の校ていときは、すりきずでほけんしつに行く人がおおかったのですが、しばふの校ていになって、すりきずをつくる人がすくなくなったのです。しばふの校ていだと、けがを気にしないでおもいきりあそべます。

はだしてげん気

なんつるでは、あたたかいあいは、しばふの上をはだしてあそぶようにしています。うんどうかいのときょうそうもはだしてやっていますね。はだして足のうらをきたえるのです。そうすると、げん気にすごすことができます。それに、しばふの上をはだしてあるくと、ひんやりして気持ちがいいですね。あたたかいときは、はだしてたくさんあそんでください。

雨がやんだら すぐにあそべる

しばふの下はすながしいてあります。だから、すぐに水がしみていくので、すこしの雨ならば、雨がやめばすぐに校ていをつかうことができます。しばふになるまえのなんつるの土の校ていは、一ど雨がふると水たまりがきえないで、なん日もつかうことができなくなる校ていでした。しばふの校ていになってよかったですね。たくさんあそんでください。



しばちゅんからの
おねがい

水が見えるときは入らないでね!

雨がふったあと、しばふに水が見えていたり、ふむと水がしみ出したりするときは、しばふに入らないでね。かわいたあと、校ていがでこぼこになってしまいます。

コーンやテープでくぎってあるところには入らないでね!

コーンとバーでくぎってあったり、テープとくいでくぎってあるところは、しばふをまもっているところです。みんながわかるように目じるしとしておいてあります。目じるしがあるときには、その中には入らないでね。

ようじょうシートの上にはのらないでね!

ふゆのさむいあいだ、ようじょうシートをかけてあるばしょがあります。しばふをあたたくつつむおふとんです。シートはひっかかりやすく、やぶれやすいので、上にはのらないでね。ようじょうシートをとめたり、テープをとめているくい(ペグ)にもものらないでください。くいがおれてしまいます。

じめんをほらないでね!

しばふ校ていの中は、手や足でじめんをほらないでね。しばふがどんどんはげてしまいます。校ていがでこぼこになってしまいます。へこんだところや、はげているところを見つけたら、すなでたいらにうめてください。すなは、すなばのすなではなく、しばふのすなをつかってください。校ていのはしの百ようぼこのうらにあります。

スプリンクラーの水はかぶらないでね!

スプリンクラーでしばふに水をやっているときに、スプリンクラーの水をかぶらないでください。スプリンクラーの水は雨水をためて使っているの、水どうの水のようにしょうどくしていません。ばいきんが入っています。また、スプリンクラーのふたにのったり、水にさわったりもしないでくださいね。からだに水がかかってしまいます。

しばふにあわないうんどう

おなじところをなんどもとんだり、ふんばったりするうんどうは、足の下のしばふがおされたり、すりきれたり、ねがほれたりするので、しばふがない土の上でやるようにしましょう。(れい) なわとび、はんぷくよことび、ぼうひき、やきゅうのピッチング など

いろんなところをつかってね!

いつもおなじところをつかわないでください。しばふがすりきれ、はげてしまいます。とくに校ていのまん中と、しょうこう口のそばがはげやすくなっています。みどりがふさふさしているところを見つけてあそんでね。おくのほうはふさふさですよ。

しばふがおおっているときは、しばふにのらないでね!

あさ、しもがおりて、しばふが白くなっていたり、ゆきでおおっていたりするときは、しばふの上にのらないでね。こおっているしばふにのると、こおったしばふのはがおれてしまいます。はがおれてしまうと、おれたはは、かれてしまいます。ふゆのしばは、一どかれると、もとにはもどりません。